

## 令和7年度学校自己評価システムシート(わせがく夢育高等学校【南浦和学習センター】)

目指す学校像	本校の教育スローガン【自由・個性・夢育】を基幹にし、令和7年度は次のような学校を目指し、本校の特色を明確化していく。 (1)生徒一人ひとり夢、人権及び個性がお互いに十分に尊重され、いつも楽しい雰囲気にあふれる学校。 (2)生徒が卒業までに、自立して生活できるように、人としての基礎基本(各教科の基礎学力・基本的生活習慣・社会的人間性等)を身につける学校。 (3)地域を理解し、地域に貢献し、地域に信頼される学校
--------	--

重 点 目 標	(1)出席率の向上 (2)退学者の減少 (3)資格取得の奨励 (4)進路決定率の向上 (5)部活動の充実 (6)本校(通信制課程)理解の促進 (7)地域交流の促進
---------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 名  
事務局(教職員) 名

学 校 自 己 評 価					
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 月 日 現在 )		
番号	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	出席奨励の連携を積極的に行い、生徒面談・保護者面談を充実させる。	皆勤者を3名以上とする		
		長期欠席を未然に防ぐため、必要に応じて家庭訪問を実施し、生徒の通学意欲を向上させる。	生徒状況調査で全日型生徒の長期欠席を20%未満とする		
2	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	生徒面談・保護者面談を充実し、生徒の学校不適応の行動を見逃さない。	退学者1名以下とする		
		保護者との連携を強化し、常に適切な連絡を家庭と取り合う。	転出者を1名以下とする		
3	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	生徒の学習意欲を高める検定の実施。	受検者数延べ23名		
		資格取得のための学習を提供する。	各種検定合格者延べ12名		
4	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	卒業率を97%以上とする。	卒業率97%以上		
		個々に応じたきめ細かな進路指導を行う。	進路決定率80%以上		
5	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	部活動の活性化に努め、生徒に充実感、達成感を持たせる。	全国大会での入賞1部以上		
		部活動を通じ、教職員と生徒及び生徒相互の人間関係を深める。	学校評価アンケートで45%以上の同意		
		部活動、同好会の加入者延べ数を11名とする。			
6	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	全教職員が協力して、地域の中学校・高等学校の教職員との連携の強化を図る。	訪問担当校(中高)を年2回以上すること		
		本校(通信制課程)理解促進のための中学校・高等学校等訪問の強化、訪問中学約129校とする。	訪問中学約129校とする。		
		学校行事・フェア・キャンバス行事等、様々な機会を通じて入学者が来校する機会を多く取り入れ、新入出願許可書の発行を60枚以上を下限とし、133枚以上する。また、2025年8月末までに85枚以上とする。	新入出願許可書発行数133枚以上(2025年8月末までに85枚以上)		
		わせがく夢育生32名。	在籍生徒数32名		
7	開設後初めての新入生を迎える。今年度より南浦和学習センターの目標を作成。	HP・SNSの充実を図る。各校舎のHP・SNSの更新を週1回以上とする。	各校舎のHP・SNSの更新を週1回以上		
		地域の方からゲストティーチャーを招き、地域の特色を学ぶ学習活動・協働作業の充実を図る。	地域の方々との学習活動・協働作業を年間1回以上		
		学校行事や地域イベント等への相互参加を通じ、地域理解や交流を深める。	地域イベント参加等の地域交流を年間1回以上		

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 令 和 年 月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	